

香川県立三本松高等学校

〒769-2601 香川県東かがわ市三本松1500-1 ☎0879-25-4147

活動団体 三高みんなの食堂プロジェクト 活動人数 450人 主な活動時間 休み時間や放課後

“できるときにできることから自分たちの手で” ～学食からエコなまちへ～

きっかけ

活動前、三本松高校の学食は利用する生徒が少なく経営困難に陥っていた。そこで、生徒が主体となり地域の農家の力も借りて、学食をみんなにとっていい場所にしようと2020年にリニューアルオープンした。

活動のモットーは「一人一人ができることを考えて、できる時間で活動し、継続する」というもの。生徒全員が参加者となり、授業でも部活でもない強制されない自主活動として、「食堂を利用する」「食堂に協力する」「食堂を応援する」など、自分たちも客でありながら、運営する立場で取り組みを始めた。



地域の人と力を合わせた活動で活気が戻った学食。

活動内容

プロジェクトは、自ら名乗り出たプロジェクトリーダー58人が中心となり、総務・内装・メニュー開発・畑・マルシェ・広報・イベントの7チームが活動を展開。畑チームは校内の未利用地でトマトやサツマイモなどを栽培し食堂の食材にしたり、メニュー開発チームは規格外の野菜や魚の未活用部位を活用するなど、生徒が自由な発想で自分の良さを発揮できる活動をしている。

また、メニューは日替わり定食のみとし、事前購入の食券制とすることで食べる数だけ作るようにして食品ロスを削減。食材には地元の米や野菜、魚などを使うことで地産地消も推進している。

さらに、学食の暖簾づくりに地元の特産品である手袋の革端材を使用したり、使われていないお盆や食器を定食用に活用。地元の人とつながりを深める活動にもなっている。



校内の土地を開拓し収穫した野菜は食堂の食材にも活用。

成果

リーダーを中心に、地域の人たちとも協力して学食を運営することで生徒の意識が変わり、「自分にもできることがある！もっと食堂を良くしたい！」という思いが広がっている。また、栄養豊富で地元の食材の良さを再認識できるメニューとなり、生徒に加え地域の高齢者なども利用するようになり交流の場にもなった。

活動エピソード

経営が好転したことで学食には活気があふれ、地元の飲食店が一日だけ料理を振る舞う「一日食堂」なども実施し、地域とのつながりが深まった。7つのチームの活動も活発になり、畑チームではこの秋に収穫したサツマイモで「焼き芋祭り」を企画して実施するなど、ユニークなアイデアが生まれている。

今後の展望

生徒たちは「自分たちの今の活動が地域の未来を良くする」という思いで、食堂を起点に地域との横のつながりを作りたいと考えている。そして、活動を先輩から後輩に引き継ぎ、その経験を活かして、将来自分たちがまちづくりに関わることを目指している。